

## 令和3年度「学校教育自己診断」の分析結果及び考察

### ○令和3年度における質問項目の設定

昨年度の質問形式を基本として考えた。

### ○アンケートの回答方法

生徒、保護者向けには配布したプリントを回収して集約した。教員向けはGoogleClassroomで回答しスプレッドシートで集約した。A B C Dの4段階での評価とした。

### ○アンケートの実施方法

生徒・保護者向けには10月に配布した。教員向けも10月にClassroomで実施した。

### ○回答数

	総数（回収率）	（参考）令和2年度
生徒アンケート	137（97.9%）	133（93.7%）
保護者アンケート	132（93.6%）	124（87.3%）
教員アンケート	63（100%）	62（100%）

※今年度は、昨年度より保護者の回収率が高くなった。

### ○生徒アンケートについて

肯定率の平均 86%（昨年度79% 7ポイント上昇）

回答 1年48 2年48 3年44 計137

昨年度より全体的な肯定率が7ポイント上昇した。令和2年度はコロナウイルス感染拡大により学校行事が制限されていたのが、今年度は感染対策をしながら少しずつではあるが通常の教育活動が実施できるようになったことが、大きく影響していると考えられる。個別の項目では、「専門教科」と「共通」の授業は、様々な職場に必要な基礎的な力を学ぶことができている」の項目で、83%から94%に11ポイント、「授業はわかりやすく、楽しい」では、70%から82%と12ポイント大きく上昇している。これらからも、コロナ禍における学校生活が生徒にとって大きなストレスになっていたと推測できる。

### ○保護者アンケートについて

肯定率の平均 86.3%（昨年度87.2% 1ポイント低下）

上述した通り、回収率が87.3%から93.6%へと6ポイント以上上昇した。回収率アップのために連絡帳等で周知したことが奏功したと考えられる。次年度も周知の方法を工夫し100%となるようにしたい。個別の項目では、「学校では、PTA活動が活発に行われている」の項目が68%から64%と4ポイント低下して、全項目の中で最も低くなっている。各PTA実行委員会で行事等を企画しているが、参加者がなかなか増えていないのが現状であり、今後参加者を増やすための方策を検討しているところである。逆に「学校は日常の教育活動において、子どもの人権を十分に尊重している」の項目が90%から93%に上昇している。元々高い評価がさらに高まったのは、人

権感覚を高めることができるように定期的に教員研修などを実施していることが影響していると考えている。

○教員アンケートについて

肯定率の平均 85%（昨年度77% 8ポイント上昇）

昨年度に引き続き、回収率100%を達成できた。特に「自立活動について理解を深め、適切な内容・方法により指導することができた」の項目で61%から76%と15ポイントと大幅に上昇した。これはオンライン授業を実施するために教員向け研修会を5回以上実施したことで、今までICT機器を使用することが苦手で取り組めていなかった教員が少しずつ触り始めたことが影響していると考えられる。